



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2023. **4**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 388

- 国際会長：K.C.Samuel [インド] フェロウシップとインパクトで次の100年へ
Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT
- アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming [台湾] 新しい時代とともに、エレガントに変化を
Elegantly Change with New Era
- 西日本区理事：田上 正 [熊本むさし] 原点を知り将来に生かす!
Know the origin and utilize it in the future!
- 九州部部長：今村 格 [熊本クラブ] 熱意をもって、自クラブ活性化に貢献しよう。
Let's contribute to activate your club with enthusiasm.



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

鹿児島クラブ会長
松永 英明

九州部ドライバー委員会報告

鹿児島クラブ 松永 英明

4月7日金曜日にリモートにて九州部ドライバー委員会が開催されました。開会挨拶後、クラブ例会の運営状況について熊本ジェーンズクラブの吉本典子ワイズ、熊本みなみクラブの桑原純一郎ワイズ、熊本ひがしクラブの田上裕章ワイズの3クラブから紹介をしていただきました。三者三様でクラブによって特徴があり、かなり参考になりました。本来ならば、役員会、ドライバー委員会、企画例会、定例会と流れがあり、2、3ヶ月先まで見越しながら段取りをすることが前提であり、個々の役割分担があります。昨今会員の減少、それに伴い例会の内容にも大いに反省するところがあるのではないのでしょうか。改めてクラブ例会の在り方、重要性を確認することができました。程よい緊張感を持ちながら楽しい雰囲気で開催するために準備と内容を構築することが大切だと思いました。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

まずは、鹿児島YMCAのチアダンスが世界大会に出場するあたり、渡航費支援寄付をお願いしたところ、多くのクラブ、個人からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。出場される子供たちは、チアダンスを通して世界の舞台に立ちたいという目標、夢のために今まで頑張ってきました。今回夢を掴むチャンスをいただき、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

さて、先日リモートで九州部ドライバー委員会が開催されました。ワイズメンズクラブが活動をするにあたり、例会の重要性を改めて感じました。ここでワイズ読本の中にこのような文章がありましたので紹介します。

YMCA施設や公共施設での質素・儉約された例会と、一方は、若干の費用はかさむものの社交の場としての、快適な会場と食事のサービスがあるがために、きちんとした身支度と時間厳守を要求されるホテル施設の例会であります。時間を厳守しなければならないために、結果として詳細な毎例会の分刻みのプログラムを作る手間が増えました。これらの体験を通して、実感することは会員減少に歯止めがかからないクラブに共通しているのが、社交の場としての魅力と、緊張感のあるプログラムが足りない例会形式であります。新しい会員候補を連れてくるにふさわしい、もてなしの場と雰囲気、心遣いがあるかということでもあります。会費の高い、安いで会員が増減することはさほどの理由にはならないと考えます。むしろ会費に値するだけの、質の高い例会のプログラムを提供しているかどうかであると思うのです。日常生活の中にある、ひとときの非日常的な例会の中で潤いを求め、多くの友との語らいを通じて学び、人生の生甲斐と安らぎを得て、このクラブに入会して良かったという思いで自己研鑽が進みます。そのクラブの形態が前述の逆であるとしたら、あなたはどちらのクラブに入会したいでしょうか。また、例会が待ち遠しいでしょうか。誇りを持たない、ストーリー性のない例会を漫然と行っていれば、規律も規則もわずらわしい仲よしクラブとなり、その結果YMCAの力にもなれずにクラブの衰退を招く、ひとつの原因になるということです。【ワイズ読本 2008/11/1発行(抜粋)】

今期会長として例会の在り方に反省するばかりです。ワイズメンズクラブにとって例会はかなり重要であると思います。改めて例会の在り方を考えていきたいと思います。



原点を知り将来に生かす!
Know the origin and utilize it in the future!

アジア・太平洋地域のMid-yearMeetingにおいて、YES資金の支援に関する提言をいたしました。国際は5名以上で新クラブ創設を推奨していますが、その期のうちに15名のgoodstandingclubになればYES支援金が新クラブに与えられます。例えば5月に5名で創設したクラブは1～2カ月以内に10名増員をせねばなりません。チャーター後1年以内にできないかが、私の提案です。予算が絡むので時間はかかるかもしれません。

3月5日に神戸市の須磨寺町自治会館で第49回ワイズ将来構想特別委員会が開催されました。足掛け7年にわたる特別委員会でワイズが抱える多くの問題が抽出され、役員会にも協議案や議案として提案されています。私が参加したこの2年はコロナ禍でZOOMでの話し合いばかりでしたが、これまでの総括と引継ぎがテーマでしたからハイブリッド開催になりました。4時間の討議の後、懇親会を開催しました。次期からは新ワイズアカデミー委員会(仮称です。他にストラテジー委員会やビジョン委員会の名称案があります)に移行予定です。委員会メンバーは各部から2～3名を募り、学習・提

案型の委員会ができたと思います。詳細は第3回役員会で発表する予定です。

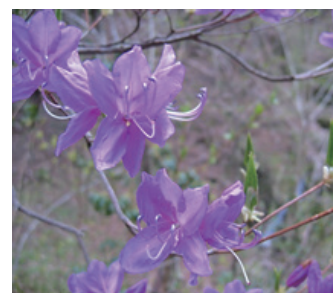
2022年度次期会長主査研修会が新大阪駅近くのコロナホテルで3月11～12日に開催されました。ちょうどワイズメンズクラブ国際協会100周年祝賀会(台北市)と日程が重なりましたが、参加された皆様や講師の皆様の熱意が伝わる良い研修会だったと思います。「語ろうワイズの未来」の時間を設けていただき、ワイズとYMCAの関係や協働について学びと次期会長からご意見をうかがうことができました。数名のYMCAスタッフ(総主事を含む)が参加されており、勉強になりましたと感想を述べられホッと致しました。

第26回西日本区大会までに3カ月足らずになりました。キャビネットにとっては第3、第4回役員会と代議員会が控えており、緊張の連続が続きます。ワイズメンズクラブ復活のきっかけが得られるように頑張ります。

今月の樹 ミツバツツジ(ホンミツバツツジ)

ツツジ科の植物であり、学術的にはツツジ属(ツツジ属参照)の植物の総称である。ミツバツツジ類は、ミツバツツジ節とも呼び、3-5月頃に咲く紅紫色の花が美しい。花が終わってから葉が出てくる。枝先に三枚の葉がつくことからこの名がついた。ミツバツツジ類は、類縁種や雑種が多く、分類が困難な種である。2018年の研究では、21種、プラス4亜種、プラス19変種と、さらに白花や八重咲きを含む品種が記載されている。品種を除いても、国内に44変種もの野生種が存在することになる。

鹿児島でなじみの深い種はハヤトミツバツツジ(岩ツツジ)である。



3 March 定例会報告

日時：令和5年3月21日(火) 19:00～20:30
場所：鹿児島市国際交流センター
出席者：7名
司会者：神村

4 April 企画例会報告

日時：令和5年4月11日(火) 19:00～20:30
場所：Zoom
出席者：神村、中堀、園屋、徳田、松若、新内、
大平、松永

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	7名
メネット	0名
コメント	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	2名
3月出席率	90%

今月の聖句 見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。

イザヤ43章19節



祝 世界大会出場

鹿児島 YMCA の「CAST Magic Faith」は 3 月に 行われたチアダンスの全国大会「USA Nationals 2023」において Senior 編成 Pom 部門第 5 位を獲得、チアダンスにおけるクラブチーム世界1を決める最高峰の大会「The Dance Worlds 2023」に USA ジャパンから推薦されました。鹿児島県内はもとより、九州勢としても初めての快挙となりました。

ご寄付等を通して応援も頂きまして本当にありがとうございます。出場決定後は、霧島市長訪問、鹿児島市長訪問を行い、報告と共に意気込みを伝えて参りました。ユニフォームには、国旗・鹿児島のエンブレムをつけて出場します！

現地時間23日(土)準決勝、24日(日)決勝です！



第9回 鹿児島YMCAチアダンススクール発表会開催

4月16日(日)宝山ホールにて、第9回となりますチアダンススクールの発表会を開催しました。感染症対策を行いながら4年ぶりに一般入場も受付、盛大に執り行うことができました。参加者の子ども達の学校へもチラシを配布したことで、出演者のクラスメイトや近所のお友達が見に来てくれたよと嬉しそうに話してくれるこどもたちです。また、同じチアダンスを通して交流がある長島町のチアダンスチームも応援に駆けつけてくれました。チアを通して繋がる輪を感じる瞬間でした。観に来ていただいた皆様ありがとうございました。



鹿児島YMCA 大平 さやか